

第3期第6回（平成25年度第6回）帯広市産業振興会議

議事録要旨

日時：平成26年3月26日（金）15:00～

場所：帯広市役所庁舎10階第5B会議室

- I. 開 会
- II. 挨 拶
- III. 協 議

1. 帯広市産業経済実態調査 論点修正案について

事務局より、配付資料に基づき論点修正案について説明があった。説明後、意見交換を行った。

【1. 中小企業の経営基盤の強化】について

（委員）

自発的な取り組みを促進するといった記述はいいと思う。具体的な検討項目がこのほかにあればその都度協議していけばいい。

【2. 産業人・担い手の育成】について

（委員）

教育分野との連携については、対象者が異なれば伝えることも異なると思う。どの対象者をイメージしているかが明らかでない。

（委員）

企業の魅力だけではなく、地域の魅力を伝えることも重要。

（委員）

人材の確保、教育に対して助成をする仕組み化について議論をしていきたい。

（委員）

多様な視点から評価を行うことにより、地域内の限られた人材の有効活用が可能になる。そういったプログラムを作っていければと思う。

（委員）

企業に魅力があれば人材確保は可能になる。個々の企業の魅力をいかにアップできるかが重要。

【3. ものづくり産業の活性化】について

（委員）

「数多くチャレンジ」の意味合いが不明確。販路拡大も含まれるのか。

（事務局）

販路拡大も含まれる。

(委員)

営業活動に焦点を当てているが、前回論点にあった「つながり」の部分は含まれないのか。

(事務局)

含まれる。

(委員)

アンケートで求めた結果が得られなかったのであれば、次回調査に生かせるように引き継いでほしい。

(委員)

「チャレンジ」については、成功事例だけではなく失敗も意識しながら議論を進めていきたい。また、「域外に依存」ではなく、「域外から入手」などに表現を修正すべき。

(委員)

「営業活動」について、マーケティングやプラン化まで拡大すべきか疑問がある。

【4. 産業基盤の強化】について

(委員)

設備投資に重点が置かれているが、設備投資をしやすい環境を作るということも重要。

(委員)

個々の企業ではなく、十勝の経済圏でみんなに必要とされる共同設備への投資という見方もできる。帯広十勝をどういう地域にしたいかを踏まえながら検討したい。

(委員)

第2期のまとめに戻れるなら戻ってはどうか。共通インフラである十勝港や高速道路の活用など、市としての将来像についてのほうが議論しやすい。個々の企業の話は難しい。

(委員)

IOCの元副会長などが帯広に来てくれている中で、こういった方々との連携が地域として大事になる。外資をうまく取り込み連携すると、十勝の資源を幅広く利用でき、マーケットも広がる。

(委員)

地元企業が競争力をつけるために議論することが重要。個々の企業を守るための投資ということではない。

(委員)

企業誘致は慎重に行うべき。企業誘致により人材育成や技術の向上につながるならば良いが、吸い取られるようでは本末転倒。

(委員)

もう少し広い視点から議論したほうが良い。

(委員)

論点としては良い。外資を呼び込む視点が重要。建蔽率や地目変更などの規制が緩和できれば非常に魅力的な地域。次の段階でこういった点も議論したい。

(委員)

HFC 総合特区やバイオマス産業都市の取り組みを広められたら設備投資も増えてくるの

では。これらのその後の動きが見えない。

【5. 集客・交流産業の振興】について

(委員)

いかに地元の魅力を高めつつ情報発信していくか、顧客の満足度に論点が集まるのは疑問。十勝外からの見え方を戦略的に変えていく必要がある。

(委員)

地元の住民が十勝の魅力に対してどう思っているのか。地域の魅力をどう発信していくのかについて議論したい。

(委員)

交流人口にとどまらず、定住人口などリタイアした人をどう呼び込むかなどについても盛り込めたらいいと思う。

(委員)

十勝はスポーツイベントが結構多いため、観光以外の目的で来る人が多い。そういった人をキャッチし、リピーター化する仕組みが必要。

(委員)

施策内容を一つ一つ切り離せない部分について議論できれば。

【全体】について

(委員)

農業が基幹産業である帯広十勝の理想、この地域がどこを目指しているかについて真剣に議論したい。

(委員)

今行っている議論が本当に街にマッチしたものなのかはわからない。今ではなく5年後10年後どうなっているかを考えつつ行動していかないといけない。

(委員)

目指している方向性を映像化（ビジュアライゼーション）して考えてみるのも良い。

(委員)

実際にヒアリングされた職員の感想、生の声を聞きたい。

(事務局)

帯広市産業振興ビジョンの中にも総論編がある。映像化するという話もあったがより具体的に理解されるにはどうしたら良いかということも含め、総論部分の議論も併せて行う必要がある。たとえば専門的な部会のような形をとって議論していく方法もある。また、複数の基本施策にまたがる論点については産業振興会議の中で見直しの議論が必要かと思う。

部会も含め議論の進め方については事務局で作ったものを提案させていただく。

IV. その他

VI. 閉会